

これで公正・公平な選挙が出来るのでしょうか？

現在東京総合車両センターでは来年度を任期とする社員の過半数代表者の選出が進められています。その目的は過半数代表者が会社と行う各種協定締結のためであり、そのプロセスは公正・公平でなければならないのは当然です。

ところが先日、ある科において特定の社員のみを集めた昼食会が催され、その場に参加した科長から投票に参加してほしい旨の話がされたようです。もしこの事が事実だとするならば極めて重大な問題であると考えます。

何故ならば、支社総務部長名で出された「過半数代表者の選出について」という掲示にも「社員は投票に参加するか否か、そして誰に投票するかに関し、他人から干渉を受けるものではなく、社員の皆さん一人ひとりの自由意思が保証されております。」と示されているとおり、もし選挙事務を担う科長が投票行為を促したとすれば、その趣旨を逸脱しているのは明白です。また「2021年度 過半数代表選出手続きの公示にあたって」という掲示に記載されている「その客観性や公平性・公正性を担保する意味から、会社の責任において執り行ってきたところであり」という責任も果たしていないと言わざるを得ません。この事は他の乗務員区で発生している「添乗中の管理職による特定候補者への投票要請」と本質において同根であり到底見過ごすことは出来ません。

従って支部は今回の事象に対し厳重に抗議します！！そして事実経過を調査し明らかにするとともに再発防止を明確にしたうえでの選挙のやり直しを強く求めます！！

2 0 2 1 年 2 月 2 2 日

J R 東日本輸送サービス労働組合
東京総合車両センター支部